




レタス収穫後のマルチ・トンネルを利用した 寒玉系キャベツの4、5月どり栽培

【背景・目的・成果】 アブラナ科作物には、レタスビッグベイン病を媒介する糸状菌の活動を抑制する働きがあります。そこで、レタス後の輪作作物としてレタス収穫後のトンネルを利用した寒玉系キャベツの4、5月端境期どりに適する品種を検討しました。その結果、「YR-春空」「N-0553」「YR-天空」「さつき女王」「SE」は4月下旬から5月上旬収穫となり、収量性・品質に優れることが分かりました。

品目	作型	9月	10	11	12	1	2	3	4	5	
レタス	年内穫り	○	▲			○ : 播種 ▲ : 定植		 : トンネル : 収穫			
キャベツ	4、5月穫り					11/20	1/8				4/8

レタス収穫後のマルチ・トンネルを利用したキャベツ栽培

播種: 2008年11月20日(128穴セル育苗)、定植: 2009年1月8日、トンネル: 定植後から被覆し4月8日に除去

畝幅: 130cm、株間: 35cm(2条植え)、栽植密度: 4400株/10a

施肥方法: 定植時に複合硝磷加安(15-10-10)22gを各株元に穴肥施用

定植50日後に同量を株間に、80日後に窒素加里化成(18-0-18)18gを2株置きに株間に穴肥施用



写真1 マルチ・トンネル内定植後の生育

各品種の栽培特性

品種名	収穫日	結球重	球緊度	花芽分化率	総合評価
YR-春空	4/下	△	○	○	○
N-0553	4/下	△	△	○	○
さつき王	4/下	×	△	×	×
初恋	4/下	×	×	×	×
YR-天空	5/上	○	○	○	○
さつき女王	5/上	○	○	○	○
SE	5/上	○	○	○	○
彩里	5/上	○	○	×	×
凜	5/上	△	×	△	×
新藍	5/上	×	×	×	×
SKI-323	5/中	○	○	△	×

収穫日: 4/下: 4月28日、5/上: 5月5~8日、5/中: 5月19日

結球重: ○: 1510~1300g、△: 1299~1000g、×: 999~870g

球緊度(結球重/球体積): ○: 0.69~0.65、△: 0.64~0.60、×: 0.59~0.49

花芽分化率: ○: 0%、△: 1~40%、×: 41~100%



写真2 「YR-春空」の収穫球の外観と断面

「YR-春空」「N-0553」は、収穫が4月28日と早く優れたが、結球重は1,195g、1,068gとやや小玉であった。

「YR-天空」「さつき女王」「SE」は、収穫が5月5~8日とやや遅れたが、結球重は1,409g、1,305g、1,504g、球緊度は0.65以上と葉が良く詰まり優れた。

【技術の活用】 レタスの輪作作物として、マルチやトンネルがそのまま利用できる本作型を普及します。慣行の露地栽培に比べてマルチ・トンネル栽培で15~27日程度収穫時期が前進します。また、マルチとべた掛け栽培の組み合わせでは8~12日程度前進することが確かめられています。